

# 2019年3月期第2四半期 決算説明会

2018年11月8日  
サンデンホールディングス株式会社  
社長 神田 金栄

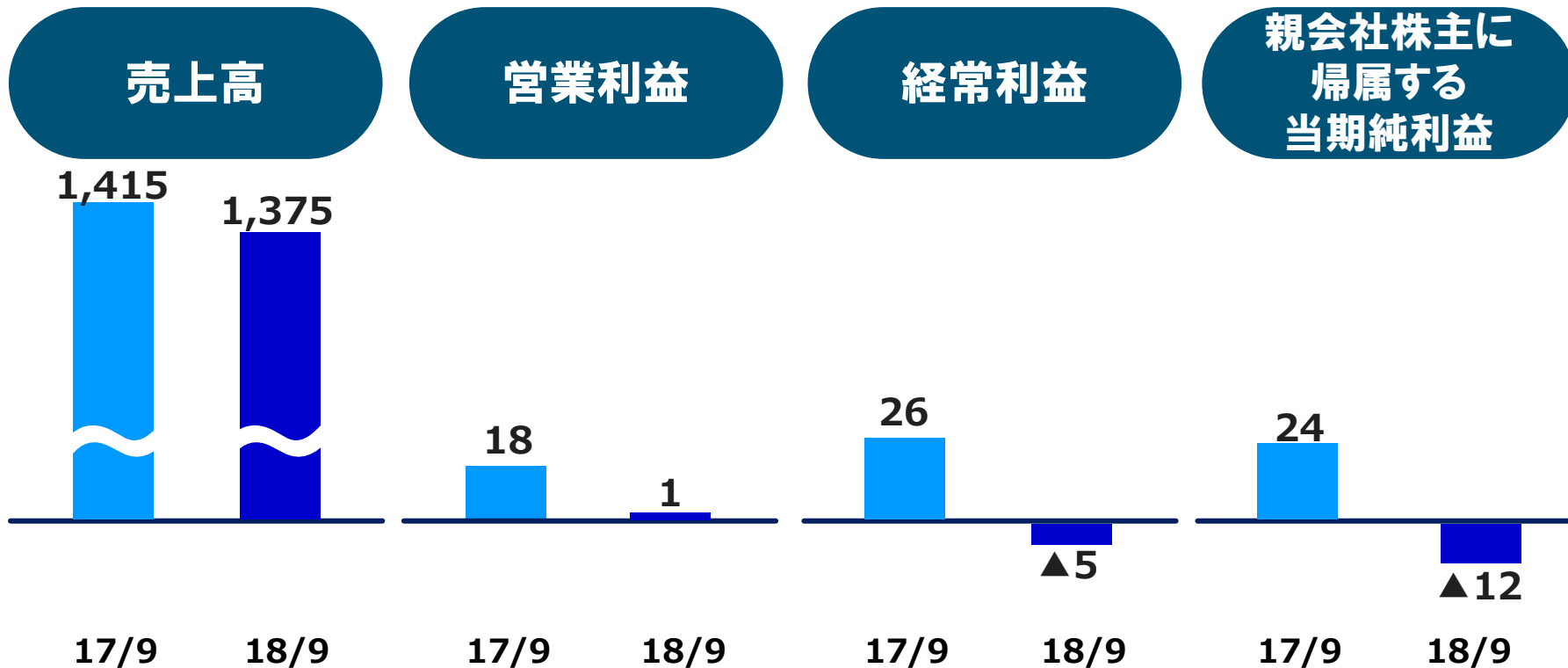
# 目次

1. 上期業績
2. 通期業績予想
3. 業績認識と課題
4. 目標達成に向けた取組
5. 配当予想

# 上期業績

# 1. 上期業績

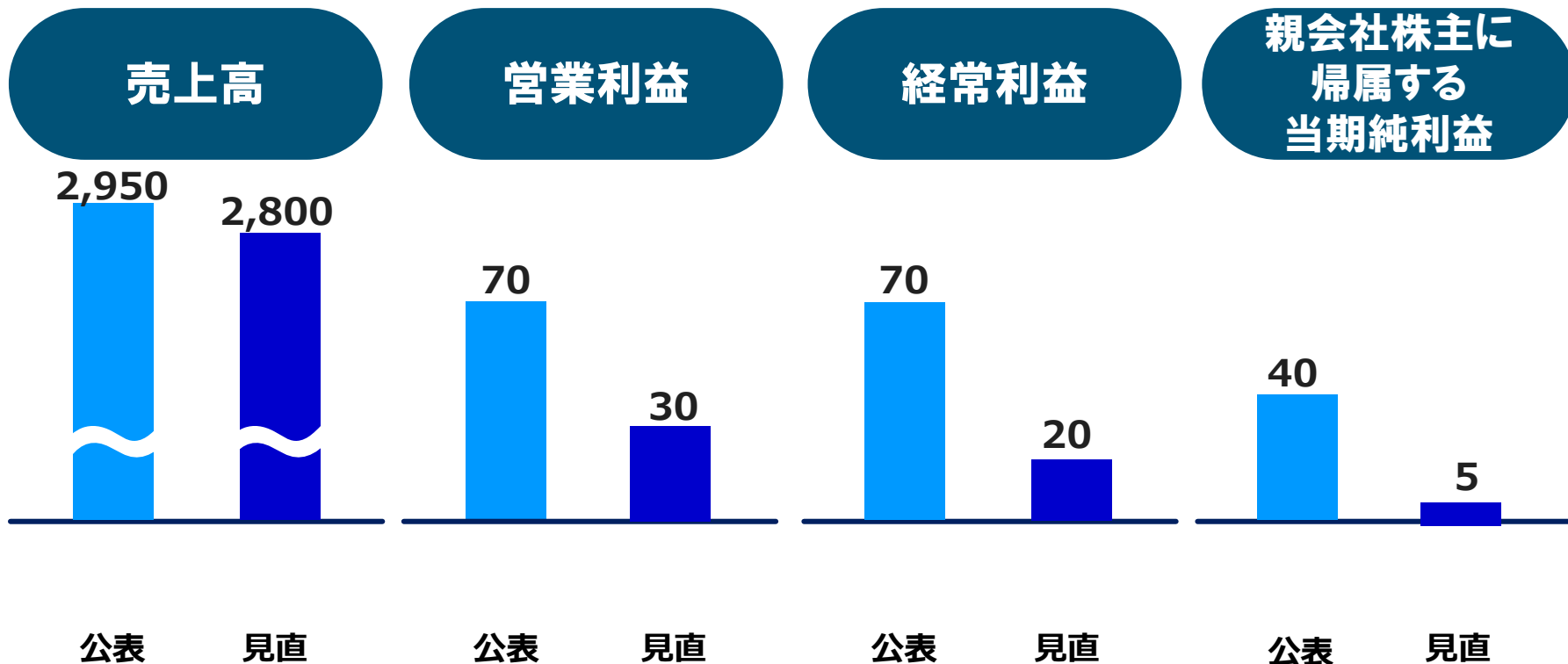
(単位：億円)



# 通期業績予想

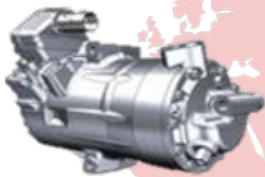
## 2.通期業績予想

(単位：億円)



# 3.業績認識と課題

## ■自動車機器事業



電動コンプレッサー

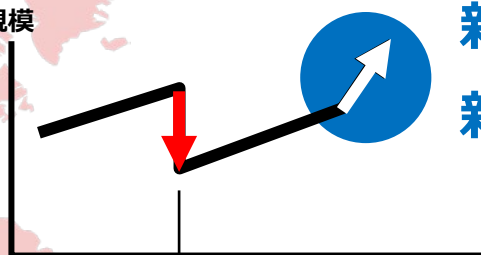
### 環境変化

新燃費基準 (WLTP)

欧州ディーゼル問題

米国通商政策、他

規模



新商権獲得

新市場開拓

2018年

## ■流通システム事業



省人化店舗

省人化、無人化

電子マネー、キャッシュレス

IoT保守 (コールドチェーン)

食材ロスの削減

## 徹底した内部努力

- (1) コスト改革
- (2) 拠点再編 / 革新的モノづくり
- (3) 経営資源の最適化

# 目標達成に向けた取組み



# 4. 目標達成に向けた取組み

中期重点施策進捗の全体俯瞰（2018年3月期決算説明）

## 4つの柱

1	収益性向上に向けた 「コスト構造改革」	調達構造改革 生産性革新 品質改革
2	財務体質強化に向けた 「資産効率改善」	投資の選択と集中 運転資本削減 ノンコア資産売却
3	企業価値創造に向けた 「事業ポートフォリオの適正化」	
4	持続的成長に向けた 「経営システム革新」	

## (1) コスト改革

### ① PXコンプ

グローバル 製造基盤強化



- ・内製部品コスト低減（キー部品、新工法）
- ・グローバル最適調達（寡占部品の競争購買）
- ・組立工程生産性
- ・省人化グローバル展開（日本モデル→欧州へ）

### ② クラッチ

- ・グローバルクラッチ調達
- ・次世代クラッチ開発、SPEC適正化

# 4. 目標達成に向けた取組み

中期重点施策進捗の全体俯瞰（2018年3月期決算説明）

## 4つの柱

1	収益性向上に向けた 「コスト構造改革」	調達構造改革 生産性革新 品質改革
2	財務体質強化に向けた 「資産効率改善」	投資の選択と集中 運転資本削減 ノンコア資産売却
3	企業価値創造に向けた 「事業ポートフォリオの適正化」	
4	持続的成長に向けた 「経営システム革新」	

## (2) 生産性革新

### ① グローバル経営効率

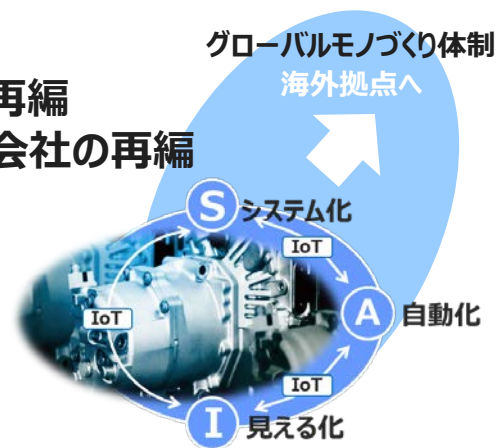
- ・スピード経営実現のための欧州再編
- ・スピード経営実現のための台湾再編
- ・ブレグジット対応（イギリス→ドイツ）

### ② モノづくり強化

- ・米州でのメキシコ拠点の再編
- ・中国での自動車エアコン会社の再編

### ③ マザーリーディング 革新的モノづくり

- ・スマート
- ・シンクロ&クリーン



# 4. 目標達成に向けた取組み

中期重点施策進捗の全体俯瞰（2018年3月期決算説明）

## 4つの柱

1	収益性向上に向けた 「コスト構造改革」	調達構造改革
		生産性革新
		品質改革
2	財務体質強化に向けた 「資産効率改善」	投資の選択と集中
		運転資本削減
		ノンコア資産売却
3	企業価値創造に向けた 「事業ポートフォリオの適正化」	
4	持続的成長に向けた 「経営システム革新」	

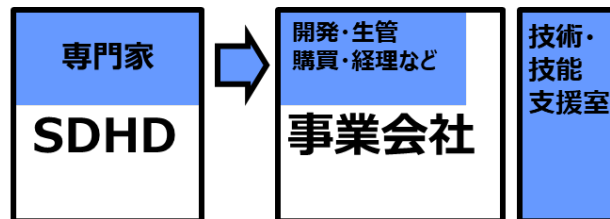
## (3) 経営資源の最適化

### ① 住環境事業の生産撤退 完了

- ・日本、他
- ・成長分野への経営資源の配置

### ② 本部組織の改編

- ・専門家人財の適正配置
- ・9本部2事業所→7本部



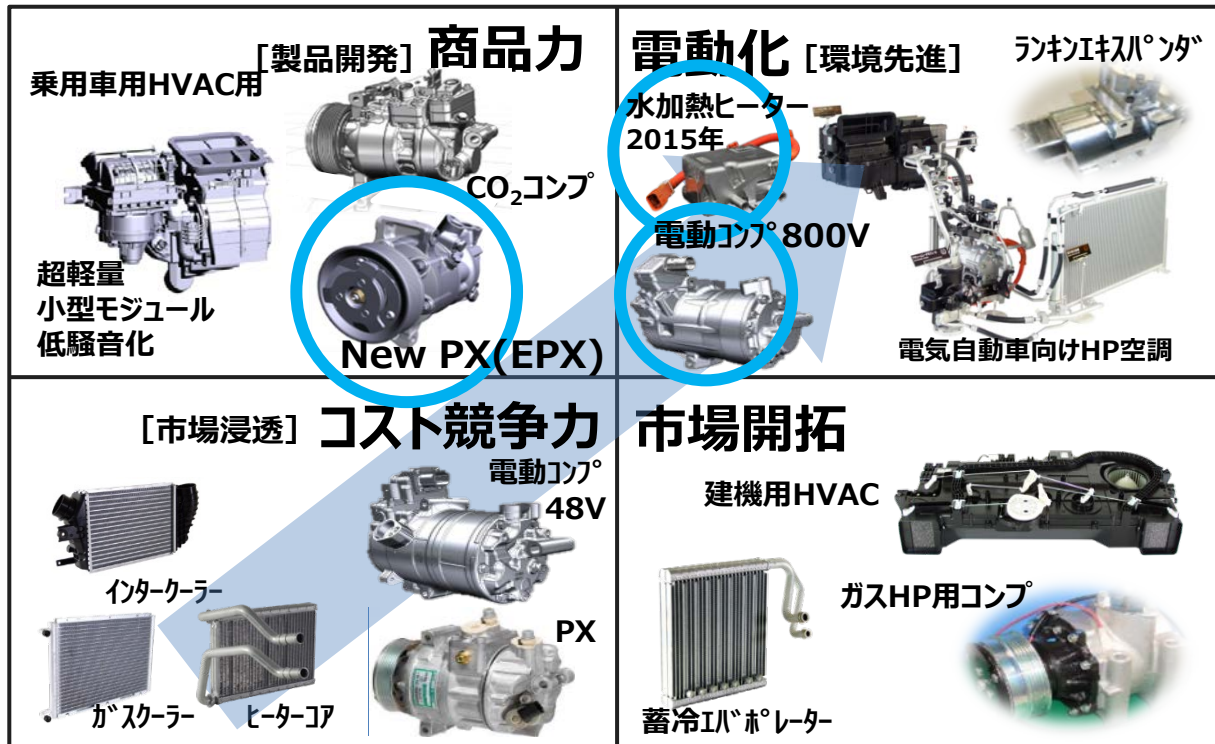
# 4. 目標達成に向けた取組み

■ 自動車機器事業

新規

技術・商品

既存



既存

新市場

新規

# 4. 目標達成に向けた取組み

■ 自動車機器事業

## 新商権の獲得

### ■ ヒートポンプシステム



- ・ヒートポンプ市場の開拓
- ・キーデバイスの日本での集中生産
- ・ヒートポンプ対応熱交の中国生産

### ■ 電動コンプレッサー



- ・マザー工場への電動コンプ<sup>o</sup>能増ラインの導入
- ・新型電動コンプの市場投入

### ■ 水加熱ヒーター



- ・電動市場における商権獲得
- ・マザー工場へのECHラインの導入

# 4. 目標達成に向けた取組み

■ 流通システム事業

新規

技術・商品

既存



既存

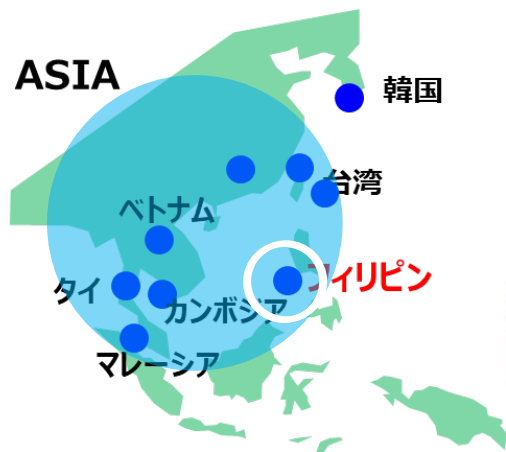
新市場

新規

# 4. 目標達成に向けた取組み

## ■ 流通システム事業

### 新市場の開拓



#### <新商品>

- ・コーヒーサーバー
- ・ワインサーバーなど



#### <新市場>

- 無人化、省人化
- ・スマートストア
- ・マイクロマーケット
- ・無人店舗、物販機

#### <新市場>

#### ■ 食の安全、食材ロスの削減

- ・コールドチェーンを軸とした、海外ビジネスの実現



- ・IoTによるサービス保守ビジネスの展開

# 配当予想



# 5.配当予想

基準日	年間配当金（円銭）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2018年5月9日発表)		20.00	20.00
今回修正予想		0.00	0.00



### 見通しに関する注意事項

前述の将来の業績に関する予想、見通しは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想や見通しとは異なる場合のあることをご承知下さい。主な要因としては、主要市場の経済環境及び製品需要の変動、為替相場の変動並びに国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更などが挙げられます。